

いっ しき あお かい
一色青海遺跡

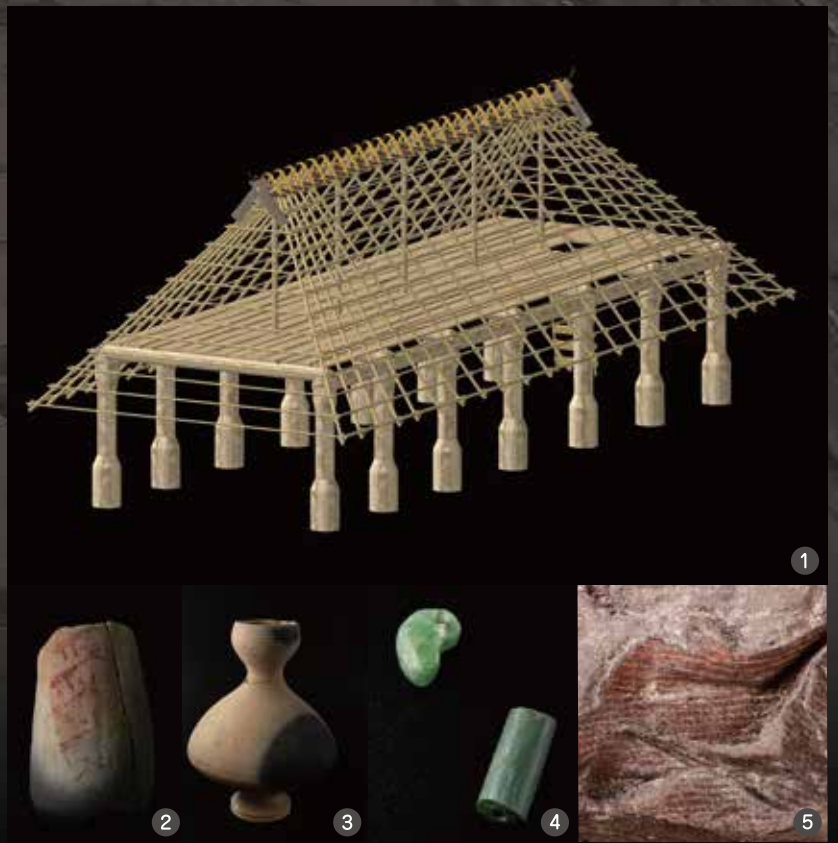
— 100年の弥生ムラ —

一色青海遺跡は、愛知県稲沢市に所在する弥生時代の集落遺跡です。集落は、紀元前1世紀を中心とする100年程しか続きませんが、主軸17.6mもある巨大な掘立柱建物をはじめ、赤彩でシカを描いた土製容器、木器の未成品や編組製品(カゴなどの編み物)など、注目される資料が出土しています。濃尾平野の拠点的な集落の一つとして、弥生時代の社会を知るうえでも重要な遺跡です。

本企画展では、発掘調査によって明らかになってきた一色青海遺跡の姿を紹介します。

- ①大型掘立柱建物復元図：一色青海遺跡
- ②シカが描かれた筒形土製品：一色青海遺跡(愛知県埋蔵文化財調査センター蔵)
- ③台付細頸壺：一色青海遺跡(愛知県埋蔵文化財調査センター蔵)
- ④勾玉と管玉：一色青海遺跡(愛知県埋蔵文化財調査センター蔵)
- ⑤編組製品：一色青海遺跡(愛知県埋蔵文化財調査センター蔵)

※①⑥画像は(公財)愛知県教育・スポーツ振興財団愛知県埋蔵文化財センター提供



5月21日 (土)

講演会

定員 **50人**
 事前申込 申込期間 4月26日(火)~5月8日(日)

■会場 / 本館(研修室)
 ■時間 / 13:30~15:00
 ■申込方法 / ミュージアム受付または公式WEBページから

「一色青海遺跡を考える」

講師：深澤芳樹 (元奈良文化財研究所副所長) **無料**
 一色青海遺跡は、短命ですが情報量が多い不思議な遺跡です。緑色のヒスイの勾玉、シカの絵を描いた土製品など、様々な視点から一色青海遺跡を考えてみましょう。



講師写真

6月18日 (土)

講座ヒストリーカフェ

定員 **25人**
 事前申込 申込期間 5月24日(火)~6月5日(日)

■会場 / 本館(研修室)
 ■時間 / 13:30~14:30
 ■申込方法 / ミュージアム受付または公式WEBページから

「石包丁の使い方」

講師：原田幹 (あいち朝日遺跡ミュージアム学芸員) **無料**
 弥生時代の収穫具として、学校の教科書にも載っている「石包丁」。どのような石器で、どのような使われ方をしたのか、顕微鏡からみたミクロな視点と現代まで続く民俗学的な視点から解き明かしていきます。



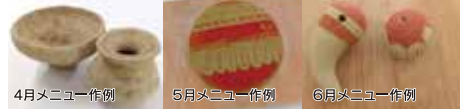
開催イメージ

土・日&祝に開催

古代体験プログラム

4月2日(土)から6月26日(日)までの土・日・祝日に開催
 会場：本館・体験学習室

- 4月：おうちで焼ける/土器づくり 教材費 600円
 ■時間 / 15:00~(60分)
- 5月：土器模様タイルを作ろう 教材費 300円
 ■時間 / 15:00~(30分)
- 6月：土玉・勾玉型土製品を作ろう 教材費 300円
 ■時間 / 15:00~(30分)



毎月開催 各回先着 **10人**
 毎月：カラフル勾玉作り講座 教材費 300円
 ■時間 / 11:00~14:00(各回30分)

毎日開催 火起こし体験

各回先着 **10人**
 弥生時代の火の起こし方を知ろう 教材費 50円
 ■時間 / 平日13:00~ 土日祝10:00~13:00~
 荒天時は中止します。

※上記はいずれも、申込み多数の場合は抽選といたします。 ※展示の観覧には観覧料が必要です。

※上記はいずれも、当日ミュージアム受付にてお申し出ください。

AI CHI ASA HI SITE MUSEUM
あいち朝日遺跡ミュージアム

■愛知県清須市朝日貝塚1番地 ■TEL:052-409-1467 ■駐車場15台

公共交通機関

きよすあしがらバスフルード
 清洲駅 徒歩約10分
 清洲総合福祉センター 徒歩約10分

きよすあしがらバスオレンジルート
 枇杷島駅 徒歩約1分
 尾張屋の宮 徒歩約9分
 ビアゴ清洲店前 徒歩約9分

新清洲駅 徒歩約20分

JR 東海道本線
 東海交通事業 城北線
 名鉄 名古屋本線

クルマ

名古屋第二環状自動車道「清洲東IC」から約1分
 清洲公園駐車場もご利用いただけます。
 駐車場の数には限りがあります。出来る限り公共交通機関のご利用をおすすめします。

